
◎開会及び開議の宣告

議会事務局長（深井真人君） 皆さん、おはようございます。3月3日の本会議において、議員全員でもって構成する予算審査特別委員会が設置され、各会計の予算審議をこれに付託することとされました。

議長招集の最初の委員会は、委員長を互選するための委員会であります。委員長が互選されるまでの間、横浜町議会委員会条例第10条第2項の規定により、出席委員の中で年長の委員が臨時の委員長の職務を行うことになっております。

出席委員の中で澤谷松大委員が年長委員でありますので、ご紹介申し上げます。澤谷松大委員は、臨時委員長席のほうへお願いいたします。

（6番 澤谷松大君登壇）

臨時委員長（澤谷松大君） おはようございます。ただいま紹介いただきました澤谷松大でございます。不慣れではございますけれども、臨時委員長の職務を行うこととなりましたので、委員長が互選されるまでの限られた時間ではありますが、無事職務を果たしたいと思っておりますので、格別のご協力を賜りますようよろしくお願いいたしますと思います。

ただいまの出席委員は9名であります。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

また、職員については全員出席でございます。

これより直ちに予算審査特別委員会を開会したいと思います。

（午前10時00分）

◎委員長の互選

臨時委員長（澤谷松大君） 早速ですが、予算審査特別委員長の選任を行いたいと思います。

ここでお諮りいたします。互選の方法については指名推選にしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う人あり）

臨時委員長（澤谷松大君） 異議なしと認めます。

よって、互選の方法は指名推選で行うことと決定いたしました。

お諮りいたします。指名推選の方法については臨時の委員長より指名することにしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う人あり）

臨時委員長（澤谷松大君） 異議なしと認めます。

よって、臨時委員長より指名することに決定いたしました。

それでは、指名したいと思います。委員長には橋本円君を指名したいと思います。これについてご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う人あり)

臨時委員長(澤谷松大君) 異議なしと認めます。

よって、予算審査特別委員長に橋本円君が選任されました。

ただいま予算審査特別委員長に選任されました橋本円委員が本委員会に出席されておりますので、本席からの当選の告知をいたしたいと思います。

ここで委員長と交代したいと思います。

以上で臨時の委員長の職務を終わらせていただきます。ご協力のほど大変ありがとうございます。

(5番 橋本 円君登壇)

委員長(橋本 円君) おはようございます。ただいま予算審査特別委員長に選任されました橋本円でございます。皆様のご協力の下、スムーズに進行していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、着座にて進めていきます。

◎副委員長の互選

委員長(橋本 円君) これより副委員長を互選いたします。

お諮りいたします。互選の方法は指名推選にしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う人あり)

委員長(橋本 円君) 異議なしと認めます。

よって、互選の方法は指名推選により行うことと決定いたしました。

お諮りいたします。指名の方法は、小職が指名することにいたしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う人あり)

委員長(橋本 円君) 異議なしと認めます。

よって、小職が指名することに決定いたしました。

指名をいたします。予算審査特別委員会副委員長に濱谷和恵君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名いたしました濱谷和恵君を予算審査特別委員会副委員長に選任することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う人あり)

委員長(橋本 円君) 異議なしと認めます。

よって、予算審査特別委員会副委員長に選任されました濱谷和恵委員が本委員会に出席されておりますので、本席から当選の告知をいたします。

◎令和8年度横浜町一般会計及び特別会計予算の概要等について

委員長（橋本 円君） それでは、予算審査特別委員会を開会いたします。

会議の進行においてご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、皆様のご協力をいただきながら誠心誠意努めてまいりますので、委員各位並びに理事者、関係職員の特段のご配慮をよろしくお願いいたします。

直ちに会議に入ります。

当委員会に付託されました案件は、議案第12号 令和8年度横浜町一般会計予算から議案第17号 令和8年度横浜町水道事業会計予算までの6案件となっております。

審査の方法については、一般会計の歳入は一括で、歳出は何款かに区切って、特別会計は歳入歳出一括して審査していきたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う人あり）

委員長（橋本 円君） 異議なしと認めます。

よって、そのように審査を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

説明は、新規事業及び重要と思われる事項を重点的に、また人件費、経常的経費並びに継続事業等は簡潔に説明願います。

なお、説明及び質疑の際には必ずページ数を告げてから、また質問は1度につき2点まででお願いいたします。再度質問する場合は、挙手した上で質問してくださるようお願いいたします。

初めに、令和8年度横浜町一般会計及び特別会計の予算の概要について説明を求めます。

企画財政課長。

企画財政課長（秋田和幸君） 本日使用いたします資料は、令和8年度予算審査特別委員会資料と令和8年度一般会計予算書になります。

それでは、令和8年度予算審査特別委員会資料を使って説明させていただきます。なお、詳細につきましては、一般会計については会計管理者から、特別会計と公営企業会計の予算については各担当課長より予算書を使用して説明となりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、座って説明させていただきます。1ページをお開き願います。1、令和8年度横浜町一般会計予算の概要についてであります。令和8年度当初予算においては、再生可能エネルギーに係る固定資産税償却資産分の増など増収を見込む一方、歳出においては議場音響設備改修工事や町営住宅有畑団地建設工事の完成により投資的経費が大幅に

減となるものの、職員給与費等人件費の増に加え、障害福祉サービス費等扶助費の増、老朽化が進む公共施設の解体や改修等にも多額の経費を要するなど、依然として厳しい状況にあります。

このような状況の中、財源の確保に努め、持続可能な横浜町の実現に向け、第1次産業の経営安定化への支援、少子化対策に関連する取組、地方創生に向けた取組など、時代のニーズを捉え、未来を開く取組に重点を置いた予算編成をしております。

その結果、予算の総額は歳入歳出それぞれ44億6,800万円となり、前年度と比較して1億1,000万円、2.4%の減となりました。

2ページ、3ページをお開き願います。2、令和8年度横浜町一般会計予算の状況についてであります。歳入ですが、各款の令和8年度当初予算額A、主な款の構成比、隣のページの左端の列で、増減額Cで説明いたします。

1款町税は7億6,433万4,000円で、構成比17.1%、2,782万3,000円の増、2款地方譲与税は2,650万円で、100万円の増、3款利子割交付金は18万円で、2万円の減、4款配当割交付金は100万円、5款株式等譲渡所得割交付金は60万円、6款法人事業税交付金は700万円で、前年度と同額となっております。

7款地方消費税交付金は1億500万円で、構成比2.4%、500万円の増、8款環境性能割交付金は200万円で、50万円の増、9款地方特例交付金は150万円で、前年度と同額となっております。

10款地方交付税は15億9,000万円で、構成比35.6%で、1億6,000万円の増となっており、普通交付税で1億6,000万円の増としております。

11款交通安全対策特別交付金は1,000円で、前年度と同額であります。

12款分担金及び負担金は1,719万8,000円で、157万5,000円の減、13款使用料及び手数料は3,846万7,000円で、46万円の増、14款国庫支出金は3億3,792万7,000円で、構成比7.6%、1億659万5,000円の減、15款県支出金は6億3,944万1,000円で、構成比14.3%、6,476万6,000円の減となっております。

4ページ、5ページをお開き願います。16款財産収入は2,126万7,000円で、1,595万1,000円の増、17款寄附金は3,000万2,000円で、400万円の減、18款繰入金は6億6,033万5,000円で、構成比14.8%、2,372万3,000円の減、19款繰越金は500万円で、前年度と同額であります。

20款諸収入は6,925万5,000円で、464万5,000円の増、21款町債は1億5,100万円で、構成比3.4%、1億2,470万円の減となっております。

表の下から2行目の自主財源合計は16億585万1,000円で、構成比35.9%、前年度と比較して1,958万1,000円の増、また一番下の行で依存財源合計は28億6,214万9,000円で、構成

比64.1%、1億2,958万1,000円の減となっております。

6ページ、7ページをお願いいたします。歳出も各款の令和8年度当初予算額A、主な款の構成比、増減額Cで説明いたします。

1款議会費は6,032万1,000円で、構成比1.4%、3,199万円の減、2款総務費は11億6,121万5,000円で、構成比26.0%、1億5,114万1,000円の増、3款民生費は8億5,418万9,000円で、構成比19.1%、268万9,000円の増であります。

8ページ、9ページをお願いします。4款衛生費は5億976万円で、構成比11.4%、4,612万3,000円の増、5款労働費は103万5,000円で、前年度と同額、6款農林水産業費は3億4,250万7,000円で、構成比7.7%、5,287万1,000円の減であります。

10ページ、11ページをお願いします。7款商工費は9,680万7,000円で、構成比2.2%、651万3,000円の増、8款土木費は2億3,004万円で、構成比5.1%、1億5,996万4,000円の減であります。

9款消防費は3億4,631万8,000円で、構成比7.8%、1億756万円の減、10款教育費は4億8,445万2,000円で、構成比10.8%、5,155万1,000円の増、11款災害復旧費は3万円で、前年度と同額であります。

12款公債費は3億7,632万4,000円で、構成比8.4%、1,563万2,000円の減、13款諸支出費は2,000円、14款予備費は500万円で、前年度と同額となっております。

一般会計については以上であります。

それでは、12ページをお開き願います。3、令和8年度主な施策及び予算額の新規事業の主なものについて説明いたします。2、庁舎照明LED化工事設計業務委託450万円、3、マイクロバス購入費1,400万円、4、町長車購入費800万円、5、地域防災計画更新業務委託572万円、6、旧保健センター解体工事関連5,660万円、9、窓口DX SaaS導入業務委託5,000万円、11、航空写真撮影業務委託1,210万円、12、補聴器購入助成事業30万円、13、障がい福祉計画更新業務委託500万円、14、医療・福祉職子育て世帯移住支援事業費補助金300万円、17、一般廃棄物最終処分場遮光シート改修工事3,200万円、19、農業収入減少（加工馬鈴薯）対策事業補助金400万円、21、菜の花プラザトイレ便器入替工事300万円、22、草地更新支援事業補助金300万円、25、半成貝購入費補助金500万円、26、横浜町特産物PRイベント事業関連400万円、28、橋梁点検委託1,407万円、29、社会資本整備事業委託で2,360万円、30、鶏沢1号線道路改良工事1,200万円、32、田ノ沢川しゅんせつ工事900万円、33、道路・水道関連施設維持管理車更新事業700万円、34、旧町営住宅有畑団地解体設計業務委託450万円、35、教育関連施設長寿命化計画更新業務委託2,000万円、39、横浜小学校体育館エアコン設置工事設計業務委託300万円、41、横浜中学校照明LED化工事設計業務委託800万円、44、烏帽子平自然の家等解体設計業務委託1,430万円、

45、トレーニングセンターアリーナ改修工事700万円が主なものであります。

13ページをお願いします。次に、継続事業の主なものについて説明します。2、空き家等除去事業費補助金300万円、3、地域おこし協力隊関連業務委託600万円、9、シルバー人材センター運営事業補助金1,203万5,000円、10、公共施設等維持管理業務委託（シルバー人材センター）1,850万円、11、敬老祝い金400万円、12、出産祝い金200万円、13、保育所運営費1億4,100万円、14、子ども医療費助成事業（電源立地地域対策交付金）1,300万円、15、予防接種・結核検診委託2,000万円、16、健康診査及び各種がん検診委託1,600万円、20、なたね助成金1,100万円、21、スマート農業等普及推進事業費補助金500万円、22、中山間地域等直接支払制度事業2,450万円、24、漁業経営資金利子補給事業補助金200万6,000円、25、ホタテ特定養殖共済事業補助金400万円、26、ホタテガイ養殖残渣処理補助金250万円、27、稚ナマコ購入放流事業費補助金150万円、28、地域商業活性化事業補助金（プレミアム商品券）360万円、33、農道整備事業負担金（農道有畑線）598万円、34、横浜地区漁港施設機能強化事業負担金3,000万円、36、横浜地区水産物供給基盤機能保全事業工事（源氏ヶ浦漁港）5,000万円、38、定住促進事業補助金500万円、41、小中学校タブレット購入費976万8,000円、43、小中学校修学旅行費助成金289万円、44、高校生通学等助成金1,000万円、46、学校給食費補助金交付事業（給食費無償化）1,191万9,000円が主なものであります。

14ページをお開き願います。4、令和8年度横浜町国民健康保険特別会計予算の概要についてであります。予算の総額を歳入歳出それぞれ7億1,320万8,000円とするものであります。前年度と比較して9,719万8,000円、15.8%の増となりました。

歳入では、1款国民健康保険税で483万3,000円、3.8%の減、4款県支出金で1億1,259万8,000円、27.2%の増、6款繰入金で1,078万1,000円、14.6%の減が主なものとなります。

歳出では、1款総務費で408万3,000円、14.9%の減、2款保険給付費で1億835万円、27.6%の増、3款国民健康保険事業費納付金で1,137万9,000円、6.4%の減が主なものとなっております。

15ページをお願いします。5、令和8年度横浜町介護保険特別会計予算の概要について、保険事業勘定であります。予算の総額を歳入歳出それぞれ8億341万円とするものです。前年度と比較して1,430万6,000円、1.7%の減となりました。

歳入では、1款保険料で369万円、3.4%の減、4款支払基金交付金で505万6,000円、2.6%の減、5款県支出金で1,045万1,000円、8.4%の減、7款繰入金で541万2,000円、2.7%の増が主なものとなります。

歳出では、1款総務費で210万6,000円、3.0%の減、2款保険給付費で1,361万3,000円、1.9%の減、4款地域支援事業費で142万9,000円、4.0%の増が主なものとなります。

16ページをお願いします。5、令和8年度横浜町介護保険特別会計予算の概要について、介護サービス事業勘定であります。予算の総額を歳入歳出それぞれ260万2,000円とするものです。前年度と比較して8万1,000円、3.2%の増となりました。

歳入では、1款サービス収入で15万3,000円、9.0%の減、3款繰越金で23万4,000円、28.5%の増が主なものとなります。

歳出では、1款事業費が8万1,000円、3.2%の増が主なものとなります。

17ページをお願いします。6、令和8年度横浜町後期高齢者医療特別会計予算の概要についてであります。予算の総額を歳入歳出それぞれ7,867万7,000円とするものです。前年度と比較して1,451万9,000円、15.6%の減となりました。

歳入では、1款後期高齢者医療保険料で1,882万7,000円、28.9%の減、2款繰入金で432万8,000円、17.7%の増が主なものとなります。

歳出では、1款総務費で15万5,000円、3.7%の増、2款分担金及び負担金で1,465万4,000円、16.5%の減が主なものとなります。

18ページをお願いします。7、令和8年度横浜町下水道事業会計予算の概要についてであります。第3条の収益的収入及び支出について、収入は3,747万1,000円で、前年度と比較して574万2,000円、13.3%の減となりました。支出は3,399万3,000円で、前年度と比較して557万2,000円、14.1%の減となりました。

第4条の資本的収入及び支出について、収入は910万円で、前年度と比較して390万円、30.0%の減となりました。支出は1,668万7,000円で、前年度と比較して394万3,000円、19.1%の減となりました。

19ページをお願いします。8、令和8年度横浜町水道事業会計予算の概要についてであります。第3条の収益的収入及び支出について、収入は9,265万7,000円で、前年度と比較して80万7,000円、0.9%の減となりました。支出は9,011万5,000円で、前年度と比較して166万1,000円、1.9%の増となりました。

第4条の資本的収入及び支出について、収入は1,806万6,000円で、前年度と比較して1,800万円、2万7,272.7%の増となりました。支出は4,407万5,000円で、前年度と比較して2,665万7,000円、153.0%の増となりました。

次に、20ページから23ページについては参考で横浜町第6次総合振興計画の基本目標に係る主な事業、24ページは参考で歳出の性質別の状況、25ページは参考で歳出の節別の状況、26ページは一部事務組合負担金の状況についてを載せております。こちらは、歳出をそれぞれ分析したものでありますので、説明については割愛させていただきます。

それでは、27ページをお願いします。一般会計参考の基金の状況についてであります。財政調整基金は令和7年度末残高見込みで11億9,686万6,000円、令和8年度積立見込額が

1,000円、令和8年度取崩し見込額が2億9,249万5,000円、令和8年度末残高見込みは9億437万2,000円となっております。一番下の合計欄になりますが、令和7年度末残高見込みで33億9,693万6,000円、令和8年度積立見込額が2億341万3,000円、令和8年度取崩し見込額が6億6,032万7,000円となり、令和8年度末残高見込みは29億4,002万2,000円となります。

以上で令和8年度一般会計及び特別会計等の当初予算の概要についての説明を終わります。

委員長（橋本 円君） 説明が終わりました。

質疑については、次の歳入歳出の各款の説明の後に行いますので、ご了承くださいようお願いいたします。

以上で令和8年度横浜町一般会計及び特別会計予算の概要についての説明を終わります。

◎議案第12号の説明、質疑、討論、採決

委員長（橋本 円君） 議案第12号 令和8年度横浜町一般会計予算を議題といたします。

まず、歳入全般について説明を求めます。

出納室長。

出納室長（山口多紀子君） それでは、議案第12号、令和8年度一般会計予算書について説明させていただきます。座って説明させていただきます。

令和8年度一般会計予算書を御覧ください。1ページをお願いいたします。まず、歳入歳出予算の総額ですが、歳入歳出それぞれ44億6,800万円となり、前年度と比較いたしまして1億1,000万円の減であります。

町債につきましては、8ページをお開きください。第2表、町債に記載しております、こちらの16事業を予定しております。

もう一度1ページに戻りまして、一時借入金につきましては、借入れの最高額は13億円と定めております。

それでは、歳入について主なものを説明いたします。13ページをお願いいたします。1款1項1目町税の個人では、本年度は1億5,085万円を計上し、前年度より910万円の減額となっており、1節現年課税分で1億4,925万円を計上しております。

2目法人では2,800万1,000円を計上し、前年度より300万円の減額となっております。

1款2項1目固定資産税では5億1,600万円を計上し、前年度より4,000万円の増額となっております。

14ページをお願いいたします。1款3項軽自動車税では、前年度と同額の1,397万円を計

上しております。

1 款 4 項 1 目たばこ税では、前年度と同額の4,700万円を計上しております。

2 項 1 目自動車重量譲与税では1,700万円を計上しております。

15ページをお願いします。6 款 1 項 1 目法人事業税交付金では、前年度と同額の700万円を計上しております。

7 款 1 項 1 目地方消費税交付金では 1 億500万円を計上し、前年度より500万円の増額となっております。

16ページをお願いします。10款 1 項 1 目地方交付税では15億9,000万円を計上し、前年度より 1 億6,000万円の増額となっております。

12款 1 項 2 目教育費負担金では1,565万1,000円を計上し、3 節学校給食費負担金（現年度分）が主なものとなっております。

17ページをお願いします。13款 1 項 2 目民生使用料では、前年度と同額の1,000万円を計上し、1 節老人福祉センターの浴場使用料となっております。

5 目土木使用料では、前年度と同額の1,710万1,000円を計上しております。主なものとして、1 節、町営住宅使用料1,100万円、5 節、定住促進住宅使用料400万円を計上しております。

18ページをお願いします。13款 2 項 3 目衛生手数料では501万1,000円を計上し、2 節のごみ収集処理手数料が主なものとなっております。

14款 1 項 1 目民生費国庫負担金では 2 億1,212万6,000円を計上し、前年度より643万4,000円の減額となっております。主なものとして、1 節児童福祉費負担金の施設型給付国庫負担金で6,467万4,000円、2 節障害者福祉費負担金の障害者自立支援給付費負担金で9,510万円、4 節児童手当負担金で3,758万円を計上しております。

14款 2 項 1 目総務費国庫補助金では4,575万9,000円を計上し、前年度より6,060万6,000円の減額となっております。主なものとして、3 節デジタル基盤改革支援補助金1,998万4,000円、4 節地域未来交付金2,500万円を計上しております。

20ページをお願いします。2 目民生費国庫補助金では2,440万5,000円を計上し、前年度より805万円の増額となっております。主なものとして、2 節児童福祉費補助金の子ども子育て支援交付金で1,847万7,000円を計上しております。

4 目土木費国庫補助金では3,941万7,000円を計上し、前年度より4,977万3,000円の減額となっております。主なものとして、1 節公的賃貸住宅家賃低廉化交付金1,831万9,000円、3 節社会資本整備総合交付金1,309万8,000円を計上しております。

5 目教育費国庫補助金では741万8,000円を計上し、4 節公立学校情報機器整備費補助金で542万6,000円が主なものとなっております。

15款1項1目民生費県負担金では1億2,229万3,000円を計上し、前年度より171万6,000円の増額となっております。主なものとして、1節児童福祉費負担金の施設型給付費県負担金2,610万7,000円、2節障害者福祉費負担金の障害者自立支援給付費負担金4,700万円、3節保険基盤安定負担金4,049万円を計上しております。

22ページをお願いいたします。15款2項1目総務費県補助金では4億641万1,000円を計上し、前年度より651万3,000円の増額となっており、1節総務管理費補助金の電源立地地域対策交付金、青森県核燃料物質等取扱税交付金が主なもので、2節青森県地域防災・減災力向上事業費補助金が皆増となっております。

2目民生費県補助金では1,695万6,000円を計上し、前年度より463万6,000円の減額となっております。主なものとして、4節児童福祉費補助金の青森県地域子ども子育て支援事業費補助金662万1,000円を計上しております。

24ページをお願いいたします。4目農林水産業費県補助金では6,334万円計上し、前年度より7,003万円の減額となっております。主なものとして、1節農業費補助金の中山間地域等直接支払交付金1,800万6,000円、2節水産業費補助金の横浜地区水産物供給基盤機能保全事業費補助金3,750万円を計上しております。

5目教育費県補助金では1,509万7,000円を計上しております。主なものとして、1節学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金1,340万7,000円を計上しております。

15款3項1目総務費県委託金では832万7,000円を計上し、前年度より688万8,000円の減額となっております。主なものとして、2節徴税費委託金の県民税取扱交付金620万円を計上しております。

26ページをお願いします。16款2項1目不動産売払収入では1,507万9,000円を計上し、前年度より1,507万8,000円の増額となっております。

17款1項1目寄附金では3,000万2,000円を計上し、前年度より400万円の減額となっております。

18款2項1目財政調整基金繰入金では2億9,249万5,000円を計上し、前年度より1億1,219万円を減額しております。

2目減債基金繰入金では5,000万円を計上し、前年度より3,956万9,000円を増額しております。

3目電源立地地域対策交付金事業維持運営基金繰入金では、前年度と同額の1,500万円を計上しております。

4目農山漁村活性化基金繰入金では1,950万円を計上し、前年度より300万円を増額しております。

5目核燃料物質等取扱税交付金基金繰入金では8,150万円を計上し、前年度より6,066万

円を減額しております。

6目ふるさと寄付基金繰入金では1,000万円を計上し、前年度より190万円を増額しております。

7目森林環境譲与税基金繰入金では793万2,000円を計上し、前年度より215万8,000円を増額しております。

8目公共施設等維持修繕基金繰入金では1,650万円を計上し、前年度より2,150万円を減額しております。

9目ひとづくり基金繰入金では1億160万円を計上し、前年度より6,720万円を増額しております。

10目公共施設等解体撤去基金繰入金では6,580万円を計上し、前年度より5,680万円を増額しております。

19款1項1目繰越金では500万円を計上しております。

28ページをお願いいたします。20款2項1目貸付金元利収入では、前年度と同額の1,100万円を計上しております。

29ページをお願いいたします。20款4項6目雑入では3,507万2,000円を計上しております。主なものとして、1節のサマージャンボ等宝くじ交付金450万円と、次のページをお願いいたします、IRU（光ケーブル）賃借料701万3,000円を計上しております。

31ページをお願いいたします。21款1項1目総務債では1,540万円を計上し、1節の脱炭素化推進事業債1,120万円が主なものとなっております。

3目農林水産業債では7,540万円を計上し、前年度より940万円の増額となっており、1節漁港整備事業債6,950万円が主なものとなっております。

4目土木債では4,170万円を計上し、前年度より1億2,760万円の減額となっております。主なものとして、1節道路補修事業債2,250万円、2節橋梁補修事業債800万円、3節緊急浚渫事業債1,120万円を計上しております。

5目教育債では1,470万円を計上し、前年度より1,470万円の減額となっております。主なものとして、1節脱炭素化推進事業債1,170万円を計上しております。

消防債は廃目となっております。

以上で歳入の説明を終わります。

委員長（橋本 円君） 説明が終わりましたので、質疑を許します。質疑ありませんか。

4番、杉山大栄委員。

4番（杉山大栄君） 8ページ、9ページに第2表の町債の内訳があるわけですがけれども、この事業のうち、例えば過疎債のように7割が交付税に算入される起債がこの中にどのぐらいあるのか。どの事業がそういう対象になっているのか、もしくはないかもしれませんけれども。

どの事業が例えば7割交付税算入とか、例えば7割ではなくても、何割かが交付税算入される事業がありましたらお知らせください。これが1点です。

もう一点が26ページの寄附金のところだったのですけれども、今年度は3,000万円、前年度は3,400万円ということで減になっているのですけれども、この内訳見れば再エネの寄附金が2,000万円になっています。これ前年度は、再エネの寄附金2,800万円で、この内訳として前年度は日本風力が1,800万円、よこはま風力から1,000万円ということだったのですけれども、これ大きく800万円も減額した理由というのですか、要因、そちらのほうをちょっとお聞きしたいと思います。

委員長（橋本 円君） 企画財政課長。

企画財政課長（秋田和幸君） それでは、杉山大栄委員の質問にお答えします。

まず、起債の関係でありますけれども、こちらは31ページのほうをちょっと御覧いただいたほうが分かりやすいかと思しますので、そちらのほうをお開き願います。過疎債のように交付税算入がある起債ということでのご質問でしたけれども、まず一番上にある脱炭素化推進事業債、こちらが事業費に対して充当率90%の起債で、交付税算入が30%あります。それから、4の土木債の3節緊急浚渫事業債、こちらに関しては事業費の100%の充当率で、こちらは過疎債と同じ交付税の算入率が70%という起債となっております。

それから、寄附金の関係についてでありましたけれども、委員おっしゃるとおり、今回横浜風力開発の部分の12基の1,800万円と、それから新たに令和7年度から風力のほうがスタートしました横浜明神平風力発電の2基の200万円の計2,000万円を計上しております。これまで予算のほうに計上しておりましたよこはま風力発電のHSE、日立さんのほうの14基の1,000万円のほうは、ここ3年ぐらい経常利益のほうが出ていないということで、寄附金のほうもされておりましたので、念のため今回は計上しておりません。今後状況次第では、ここは補正対応で増えてくるという可能性があります。

以上であります。

委員長（橋本 円君） 4番、杉山大栄委員。

4番（杉山大栄君） まず、1点目の起債の件だったのですけれども、これは来年度、この事業は全部確定ということでいいのですか。繰り越すようなものはあるのかどうか、確定と見込んでいいものなのか。

それと、寄附金の関係ですけれども、日立さんが3年間利益もないということで、それ内容とかも町のほうからも収支報告とかそういうのに参加して、財務諸表とかも確認してのことでしょうか。お願いします。

委員長（橋本 円君） 企画財政課長。

企画財政課長（秋田和幸君） まず、起債に関しては、今の予定でありますので、もしかすれば、例

えば公用車、ハイブリッド車が対象なものですから、納入されなければ繰り越すという可能性は十分にあるかと思えます。

それから、日立の経常利益の関係についてでありますけれども、毎年こちらは、横浜町が株主になっておりますので、株主総会のほうに町長と出席いたしまして状況のほうを確認して、どうしても風力の電力のほうは、風があんまり思ったように吹いていないと、計画より吹いていないということで、利益のほうがあんまり出ていない状況ですので、今年度風のほうが強く吹いておれば利益のほうが出てくるのかなというふうに考えております。

以上であります。

委員長（橋本 円君） 7番、沖津正博委員。

7番（沖津正博君） 同じ31ページです。小学校のエアコン設置事業債ですが、聞いたところによれば小学校にエアコンをつける際、防災の関係上、断熱の工事を行うわけで、緊急防災・減災事業債が当てはまるというふうな話を伺っておりますので、今後ぜひ確かめていただいて検討していただければというふうなことです。

委員長（橋本 円君） 要望ですか。

7番（沖津正博君） はい。

委員長（橋本 円君） 4番、杉山大栄委員。

4番（杉山大栄君） 13ページの町税のほうなのですけれども、固定資産税の中に滞納分が200万円計上になっていきますけれども、これは個人が幾らで、法人が幾らなのか、ちょっと内訳をお聞きしたいと思います。

委員長（橋本 円君） 税務課長。

税務課長（若佐貴仁君） ただいまの質問にお答えします。

件数につきましては、今現在、手持ち資料はありません。過去3年の平均で歳入見込みがある納税額を計上しておりますので、ご理解願いたいと思います。よろしく申し上げます。

委員長（橋本 円君） 4番、杉山大栄委員。

4番（杉山大栄君） 見込みということは、では個人も法人も合算しての見込みということですよ。それでよろしいのでしょうか。

委員長（橋本 円君） 税務課長。

税務課長（若佐貴仁君） そのとおりとなります。よろしく申し上げます。

委員長（橋本 円君） 7番、沖津正博委員。

7番（沖津正博君） 18ページです。衛生手数料の中でごみ袋が変わってきております。それで、いろんな物価高騰の中で大変経費を抑えるのに苦慮はされていると思うのですが、ごみ袋の

値上げについてはこの手数料には入っていないのですよね。確認したいと思います。

委員長（橋本 円君） 町民課長。

町民課長（菊池和也君） こちらについては、値上げ分というのは含まれておらず、現在実際にやる
というか、仕入れて、これまでの実績に基づいて積算したものでありますので、そこは見
られておりません。

以上です。

委員長（橋本 円君） ほかにありませんか。

（「なし」と言う人あり）

委員長（橋本 円君） これをもって質疑を打ち切ります。

続いて、一般会計予算の歳出に入ります。歳出の1款から2款までの説明を求めます。

出納室長。

出納室長（山口多紀子君） 続いて、1款から2款までの歳出についてご説明いたします。

32ページをお願いいたします。1款1項1目議会費では6,032万1,000円を計上し、前年
度より3,199万円の減額となっております。人件費の調整が主なものとなっております。

33ページをお願いいたします。2款1項1目一般管理費では2億7,501万2,000円を計上
し、前年度より60万8,000円の減額となっております。主なものとして、人件費と、36ペ
ージをお願いいたします、上段の18節の北部上北広域事務組合負担金3,249万3,000円が主
なものとなっております。

37ページをお願いいたします。2目文書費では1,520万円を計上し、11節の郵便料が主な
ものとなっております。

4目会計管理費では1,955万円を計上し、前年度より287万2,000円の減額となっており、
人件費の調整が主なものとなっております。

5目財産管理費では1億4,393万4,000円を計上し、前年度より8,298万9,000円の増額と
なっております。主なものとして、40ページをお願いいたします。12節の照明LED化工
事設計業務委託料450万円、14節の旧保健センター解体工事5,400万円、17節の車両本体購
入費1,400万円、24節のふるさと寄附基金積立金1,000万円を計上しております。

41ページをお願いいたします。8目交通安全対策費では、前年度と同額の841万2,000円
を計上し、10節の街路灯電気料600万円の計上が主なものです。

11目防災諸費では1,218万6,000円を計上し、前年度より127万6,000円の増額となってお
ります。主なものとして、12節地域防災計画更新業務委託料570万円を計上しております。

42ページの下段、12目情報通信環境整備費では1,399万7,000円を計上し、前年度より45万
円の増額となっております。次のページをお願いいたします。主なものとして、14節の支
障移転工事500万円を計上しております。

2款2項1目企画調整費では2億815万4,000円を計上し、前年度より1,669万2,000円の増額となっております。主なものとして、24節のスクールバス運行事業維持運営基金積立金6,578万円と水槽付消防ポンプ自動車兼救助工作自動車更新基金積立金9,000万円を計上しております。

45ページをお願いいたします。2目地域づくり推進費では1,690万3,000円を計上し、前年度より489万3,000円の減額となっております。主なものとして、12節の地域おこし協力隊関連業務委託料600万円を計上しております。

3目原子力発電施設等広報・調査費では、前年度と同額の765万6,000円を計上しており、8節旅費が主なものとなっております。

47ページをお開きください。5目電源立地地域対策費では1,312万3,000円を計上し、前年度より822万6,000円の減額となっており、24節、町立小中学校維持運営基金積立金1,275万3,000円の計上が主なものとなっております。

6目新エネルギー事業調査費では2,078万9,000円を計上し、前年度より770万1,000円の減額となっており、24節の農山漁村活性化基金積立金で2,000万円の計上が主なものとなっております。

7目情報システム費では2億4,116万3,000円を計上し、前年度より5,593万4,000円の増額となっております。主なものとして、12節の地方公共団体情報システム標準化・共通化業務委託料1,998万5,000円、システム運用支援保守1,748万1,000円、窓口DX SaaS導入業務委託で5,000万円、13節の基幹システムクラウドサービス利用料で2,772万円、ガバメントクラウド利用料で3,000万円、システム運用支援保守使用料で6,000万円を計上しております。

50ページをお願いいたします。定額減税・調整給付事業費は廃目であります。

2款3項1目税務総務費では4,375万2,000円を計上し、前年度より545万3,000円の増額となっており、人件費の調整が主なものとなっております。

51ページをお願いいたします。2目賦課経費では4,943万2,000円を計上し、前年度より3,215万7,000円の増額となっております。主なものとして、12節の固定資産評価替え関連業務委託料762万6,000円、税務情報システム改修業務委託料1,109万5,000円、航空写真撮影業務委託料1,210万円を計上しております。

53ページをお願いいたします。2款4項1目戸籍住民登録費では4,333万5,000円を計上し、前年度より451万4,000円の減額となっております。主なものとして、13節の戸籍クラウドサービス利用料720万円を計上しております。

55ページをお願いします。2目青森県議会議員一般選挙費は前年度より皆増で、参議院議員通常選挙費は廃目であります。

以上、1款から2款の歳出の説明を終わります。

委員長（橋本 円君） 説明が終わりましたので、質疑を許します。

9番、菊地英史委員。

9番（菊地英史君） 45ページの下から2行目の地域おこし協力隊の関連業務委託ということで600万円が計上されておりますけれども、これまでの実績と具体的な業務内容についてというのが1点と、そしてあと51ページの下段のほうの航空写真の撮影業務委託料の内容について答弁を求めたいと思います。

委員長（橋本 円君） 企画財政課長。

企画財政課長（秋田和幸君） それでは、菊地委員のご質問にお答えいたします。

まず、地域おこし協力隊の関連の業務委託ですけれども、今年度に関しては募集業務委託業務とお試し地域おこし協力隊の業務のほうをやっていただいております。それで、今回はその業務を一括して全部まとめて、あとサポート業務も含めた形で令和8年度は600万円ということで、最大限かかる分をここに600万円ということでのせていただいております。

以上です。

委員長（橋本 円君） 税務課長。

税務課長（若佐貴仁君） そうすれば、質問の航空写真の委託料の関係だったのですけれども、税務課にある土地情報システムのほうで地籍図と航空写真のほうを合わせるシステムがあるので、そちらの写真のデータのほうが平成28年に撮影された航空写真でありますので、もう10年経過するため、来年度航空写真のほうを更新したいなと考えておりますので、よろしく申し上げます。

以上です。

委員長（橋本 円君） 9番、菊地英史委員。

9番（菊地英史君） 先ほどの答弁の中で、地域おこし協力隊の管理業務委託の中で、もちろん内容と実績というふうな感じで質問したのですけれども、実績についてはどの程度あるのかというのを併せて答弁いただけたらなと思います。

委員長（橋本 円君） 企画財政課長。

企画財政課長（秋田和幸君） 実績に関しては、先ほども申したとおり、7年度で業務委託の募集のほうを委託かけておりますし、お試しの地域おこし協力隊の部分も委託をかけて、そちらの部分の経費はかかっております。額ということなのでしょうか。もう少し詳しく申し上げます。すみません。

委員長（橋本 円君） 9番、菊地英史委員。

9番（菊地英史君） 今までも、こういった募集の委託をやってきていたと思うのですけれども、そ

これは結局地域おこし協力隊募集の業務委託をして、実際に今年度に関しても募集があったのかどうかということ等に関しては、募集方法について1者なものやら、2者なものやらと、多分窓口を広げて募集したほうが地域おこし協力隊も来やすいのではないかなというふうな感じで思っているので、今後の募集、業者に関して1者なものやら、2者にするものやらというものをちょっと答弁いただけたらなと思います。

以上です。

委員長（橋本 円君） 企画財政課長。

企画財政課長（秋田和幸君） まず、今年度に関しては、保守業務に関しては1者のほうでやらせていただいております。8年度については、今後検討する予定ではあります。

それから、募集状況についてでありますけれども、今回1名の方が応募いたしました。それで、ようやく横浜町に地域おこし協力隊のほうで4月1日から採用予定となっております。神奈川県横浜市在住の方が横浜町に来てくれるということで、25歳男性の方が4月1日から採用される予定となっておりますので、よろしくお願いします。

以上であります。

委員長（橋本 円君） 9番、菊地英史委員。

9番（菊地英史君） 大変うれしいお知らせであったなというふうな感じで思っております。

今後に関しても、募集の窓口を広げて、募集関連業務を2者とかに広げて、これ以上の募集していただければなというふうな感じで要望して終わりたいと思います。

委員長（橋本 円君） 7番、沖津正博委員。

7番（沖津正博君） ページ数が49ページですが、原子力防災の関係ですが、毎年訓練は行っているのですが、現在の課題についてどういうふうに認識されているのか、1つはお願いいたします。

それから、47、48ページなのですが、情報システム費ですが、年々ここの経費がどんどん膨れ上がってきているなというふうに感じていて、様々パソコンに寄与することは大きくはなってきているのですけれども、導入するには、よく分からないのですが、当然見積りを取りながら、何者かあって、見積りを取って行っていると思うのですが、こうした、例えば一回そのメーカーというか、その会社のシステムを導入すると、更新のたびに、また言われるがままに予算が膨らんでいくというふうなことかなというふうに思っています。痛しかゆしですが、こうしたシステム費が高くなるのは仕方ないのですが、なるべく抑える方策というのはどんな方法があるのかなというふうに感じています。例えばエンジニアも、専門家ですね、そういう方々をひとつ直接雇用するというのは難しいのであれば、外においてその人たちからレクチャーを受けながら、システムの改修なんかはその人たちをお願いするとか、そういう何かシステムのメーカーに、ある意味では独立した

保守管理というか、そういうのも必要ではないのかなと思っているのですが、それは契約上難しいのかもしれない。私はよく分からないので、単純に思ったことをちょっとお伺いしたいなと思います。抑える方策があるのかどうか、全くないのか、その辺のことをちょっとお聞きしたいと思います。

委員長（橋本 円君） 企画財政課長。

企画財政課長（秋田和幸君） まず、原子力災害の関係でありますけれども、まず沖津委員おっしゃったとおり、毎年原子力防災災害の訓練のほうは実施して、町民の方にも意識の啓発のほうを進めているところでもあります。

また、今後の課題といたしますか、というのは3月14日、皆さんご存じのとおり、下北半島縦貫道路が横浜インターチェンジまで、まず開通しますので、これから県と関連市町村とも協議することになりますけれども、そちらを含めた避難経路の改定というのが今後必要になってくるかなというふうに考えておりますので、その点については順次、県と協議しながら進めていきたいなというふうに考えております。

それから、情報システム費については、確かに高額な額にはなっていますが、今町で進めている標準化に関しては、確かに利用料等高くはなるのですが、今後そういう国のシステムに乗っかってやるものですから、これまでやったシステム改修とかの経費がかからなくなってくるというふうになります。今まで町で改修していたものが、今度は国のほうでやってくれるということで、その部分ではシステムの経費のほうは多少は下がるのですが、いずれにしても利用料というのはいくらも高いものですから、この辺は致し方ないなというふうに考えております。

それから、技術者に関しても、このシステムに関しては事業者側のほうのシステムを使ったりしておりますので、やはりそれに精通していなければ対応できない部分がありますので、町独自で採用して、それに対応するというのはなかなか難しいものがあるのではないかなというふうに考えております。

以上であります。

委員長（橋本 円君） 7番、沖津正博委員。

7番（沖津正博君） 原子力防災で、オープンしながら避難経路等についてということの話が出ましたので、ついですが、縦貫道に、やっぱりこれは避難道路として非常に注目されて、早めに完成されるというふうな運びだったと思いますが、前にも言いましたけれども、例えば線量計を縦貫道のところに、縦貫道を走れば今の線量が分かる、そういう表示計をぜひお願いしたいなというふうに思っています。常磐道はマイクロシーベルトで、はっきりと被曝線量で示されております。ナノグレイではないのです、被曝線量で示されている、できればそういう線量計で表示してほしい。当然風量、風速、風向とか、そういう表示もぜ

ひお願ひしたいなというふうに思っています。

それから、原子力の防災の課題ですけれども、やっぱり単純に思えば、今の訓練だけではなくて、もっともっと角度を変えた訓練が必要だなと思っております。今の施設の入所者の避難の受入先をどうするのか。それから、複合災害で、石川であったように道路が寸断されたときに、ではどういうふうに復旧して避難していくのか。あるいは、一番困るのが道路の渋滞ですが、広域避難の場合。スクリーニングが1か所しかない、大変そこで混雑して前に進まないというふうな状況になるのが目に見えているわけです。スクリーニングの渋滞解消にどうすればいいのかとか。私やっぱり一番思うのは、本当に原子力防災の講話をやってほしいのです。それは、原子力災害があったら、町民としてそれを低減できる方法を町民が考えて、覚えているというふうにしてほしいのです。そういう原子力防災の講話、そういうことがやっぱり日常の訓練の中で出てくればいいなというふうに思います。

以上です。

委員長（橋本 円君） 要望ということでよろしいですか。

7番（沖津正博君） はい。

委員長（橋本 円君） 10番、杉山和彦委員。

10番（杉山和彦君） 48ページですけれども、沖津委員が質問されたのと若干重なると思うのですが、12節の委託料の窓口D X S a a S 導入業務委託5,000万円、あと13節の使用料及び賃借料の一番下のシステム運用支援保守使用料6,000万円、かなりの高額なのですけれども、昨年もこれ計上していたかどうか、その辺ちょっと詳しいことは分からないのですけれども、これは基本入札でいくものか、それとも業者ありきの、いわゆる随契でいくものか、簡単にそこだけお願いします。

委員長（橋本 円君） 企画財政課長。

企画財政課長（秋田和幸君） そうすれば、杉山和彦委員の質問にお答えします。

まず、窓口D X S a a S の5,000万円についてでありますけれども、こちらについては、いわゆる書かない窓口の導入の経費でありまして、国の補助金が2分の1であります。

それから、システム運用支援保守の6,000万円という額なのですけれども、こちらについても今標準化が始まって、令和8年の2月、3月分から今費用が発生するものですから、実際どのぐらいかかるかというのがまだ見えていない状況での予算計上となっておりますので、念のため、このぐらいかかるであろうという、業者からの聞き取り調査でこれは載せてありますので、今後どのぐらいかかるかというのはこれから分かってくるという感じになりますので、今現在まだ利用料は発生していないので、まだ今現在分からないというのが現状であります。

以上です。

(「もう一つ」と言う人あり)

企画財政課長(秋田和幸君) 入札か随契かという話でありましたけれども、基本的には随契になるかと思います。

以上であります。

委員長(橋本 円君) 9番、菊地英史委員。

9番(菊地英史君) 私のほうは、54ページの中段になります。戸籍クラウドサービス利用料に当てはまるのかどうか、ちょっと関連してではありますけれども、現在のマイナンバーカードを使用しての住民票の取得に関して、コンビニでできる自治体が結構あるのですが、うちの自治体ではそれに対応しているものかどうかというのが、これの答弁を求めたいと思います。

委員長(橋本 円君) 町民課長。

町民課長(菊池和也君) ただいまの菊地英史委員のご質問にお答えいたします。

こちらの書かれている戸籍クラウドサービス利用料については、コンビニ交付とはまた別なものになっておりまして、町のほうでは戸籍のコンビニ交付については現在のところ実施しておりません。

以上となります。

委員長(橋本 円君) 9番、菊地英史委員。

9番(菊地英史君) できれば住民票のコンビニ交付に関して、今後整備していただければなと思いますので、そちらのほうをまず要望させていただいて終わりたいと思います。

委員長(橋本 円君) ほかにありませんか。

(「なし」と言う人あり)

委員長(橋本 円君) なければ、これをもって質疑を打ち切ります。

お諮りします。午後1時30分まで休憩したいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う人あり)

委員長(橋本 円君) よって、午後1時30分まで休憩といたします。

休憩 午前11時18分

再開 午後 1時30分

委員長(橋本 円君) それでは、休憩を解きまして会議に移りたいと思います。

次に、3款から4款までの説明を求めます。

出納室長。

出納室長(山口多紀子君) では、3款から4款の歳出を説明いたします。

57ページをお願いいたします。3款1項1目社会福祉総務費では1億5,498万8,000円を計上し、前年度より427万4,000円の減額となっております。主なものとして、12節の公共施設等維持管理業務委託料1,850万円、59ページをお願いいたします、18節の上北地方教育・福祉事務組合負担金1,021万8,000円、横浜町社会福祉協議会運営事業補助金1,826万4,000円、シルバー人材センター運営事業補助金1,203万5,000円、27節の国保特別会計繰出金6,290万5,000円を計上しております。

60ページをお願いいたします。3目老人福祉費では1億9,776万2,000円を計上しております。主なものとして、12節の浴場管理委託料で1,921万7,000円、次のページをお願いいたします、27節の介護保険特別会計繰出金で1億6,042万1,000円を計上しております。

4目障害者福祉総務費では1,323万1,000円を計上し、前年度より531万2,000円の増額となっております。主なものとして、12節の障がい福祉計画更新業務委託料500万円、19節の重度心身障害者医療給付費700万円を計上しております。

6目在宅福祉事業費では1,113万9,000円を計上し、主なものとして18節の移送サービス事業補助金694万2,000円を計上しております。

7目障害者自立支援給付費では2億614万2,000円を計上し、前年度より500万円の増額となっております。主なものとして、63ページをお願いいたします。19節の障害福祉サービス費等1億8,800万円、自立支援医療費1,200万円を計上しております。

64ページをお願いいたします。3款2項1目児童福祉総務費では2,582万4,000円を計上し、前年度より381万3,000円の増額となっております。65ページをお願いいたします。主なものとして、18節の医療・福祉職子育て世帯移住支援事業費補助金300万円を新規に計上しております。

66ページをお願いいたします。2目地域子ども子育て支援事業費では2,500万1,000円を計上し、前年度より124万2,000円の減額となっており、人件費の調整が主なものとなっております。

67ページをお願いいたします。3目子ども医療助成事業費では、前年と同額の1,340万円を計上しております。

4目子どものための教育・保育給付費では1億8,970万4,000円を計上し、前年度より1,010万円の減額となっております。主なものとして、12節の保育所運営委託費1億4,100万円、19節の児童手当4,590万円を計上しております。

5目こども家庭センター費の新設で405万円を計上しております。

4款1項1号保健衛生総務費では7,804万9,000円を計上し、前年度より286万3,000円の増額となっております。次のページをお願いいたします。主なものとして、18節の北部上北広域事務組合負担金で7,449万6,000円を計上しております。

2 目予防費では2,053万8,000円を計上し、前年度より200万4,000円の減額となっており、12節の予防接種・結核検診委託料2,000万円の計上が主なものとなっております。

3 目母子衛生費では784万2,000円を計上し、12節の妊婦健康診査の計上が主なものとなっております。

71ページをお願いいたします。下段、6 目保健師等活動費では5,393万6,000円を計上し、前年度より589万3,000円の増額となっており、人件費の調整が主なものとなっております。

73ページをお願いいたします。8 目菜の花にここセンター費では1,987万円計上し、前年度より223万1,000円の減額となっております。主なものとして、10節の光熱水費1,000万円、12節の自動制御盤等保守点検業務委託料400万円を計上しております。

9 目環境衛生費では3,518万1,000円を計上し、18節の下北地域広域行政事務組合負担金3,446万円が主なものとなっております。

75ページをお願いいたします。4 款 2 項 1 目清掃総務費では9,921万円を計上し、前年度より571万8,000円の増額となっております。主なものとして、12節の一般廃棄物収集運搬業務委託料2,700万円と18節の北部上北広域事務組合負担金7,206万9,000円を計上しております。

2 目分別収集普及費では699万円を計上しております。

3 目一般廃棄物最終処分場維持管理費では4,943万8,000円を計上し、前年度より3,404万円の増額となっております。主なものとして、12節の保守点検・水質調査業務委託料650万円、14節の一般廃棄物最終処分場埋立地改修工事3,200万円を計上しております。

4 目下水道処理費では、前年度と同額の556万1,000円を計上し、18節の合併処理浄化槽設置整備事業費補助金552万6,000円が主なものとなっております。

77ページをお願いいたします。4 款 3 項 1 目健康増進事業費では2,104万3,000円を計上し、前年度より218万4,000円の減額となっております。主なものとして、12節の健康診査及び各種がん検診1,600万円を計上しております。

2 目後期高齢者医療事業費では1億4万2,000円を計上し、前年度より635万4,000円の増額となっております。主なものとして、18節の後期高齢者療養給付費町負担金6,708万5,000円と27節の後期高齢者医療特別会計繰出金2,881万1,000円を計上しております。

以上、3 款から4 款の歳出説明を終わります。

委員長（橋本 円君） 説明が終わりましたので、質疑を許します。質疑ありませんか。

9 番、菊地英史委員。

9 番（菊地英史君） 65ページの下段のほうになりますけれども、医療・福祉職子育て世帯移住支援事業費補助金300万円が計上されておりますが、この中身について詳しく答弁いただけた

らなと思います。

委員長（橋本 円君） 福祉課長。

福祉課長（深澤文人君） そうすれば、今のご質問にお答えします。

こちらの補助金ですが、県独自の補助事業になります。内容としましては、18歳未満の子供とともに県外から青森県内に移住し、県内の医療・福祉施設等で就業または今後資格等の取得を目的に県内の養成機関に就学する方を対象としております。

300万円の内訳ですが、基本分が100万円、子供1人当たりの加算が100万円になります。その方が独り親の場合は、さらに100万円加算となります。補助率ですけれども、基本分と子育て加算分に対しては県が4分の3を補助いたします。独り親加算ですけれども、こちらは県のほうが10分の10補助となります。

以上です。

委員長（橋本 円君） 7番、沖津正博委員。

7番（沖津正博君） 70ページです。妊婦のための支援給付金150万円について、中身をよろしく願いたいします。

それからもう一つですが、76ページの一般廃棄物の最終処分場の改修工事ですが、今回改修工事を行うに当たって、長寿命化といいますか、どのくらい寿命が延びるといふか、使える見込みになるのか。当初大分長く使えるなというふうに思っていたのですが、耐用年数を大分超過して使っているのかなというふうに思っているのですが、長寿命化計画の効果として今回やるのかなと思っています。この先の見通しについてお願いします。

委員長（橋本 円君） 健康みらい課長、どうぞ。

健康みらい課長（小関むつみ君） ただいまの沖津正博委員の質問にお答えいたします。

妊婦のための支援給付金事業については、これまで、昨年度まで出産子育て応援給付金と同じ事業になっております。名称と制度が変わったもので、これまで対象にならなかった流産、死産等の場合においても給付の対象になるものです。

以上です。

委員長（橋本 円君） 町民課長。

町民課長（菊池和也君） ただいまの沖津正博委員のご質問にお答えします。

76ページの一般廃棄物最終処分場埋立地改修工事によって、どのくらい寿命が延びる見込みなのかというご質問ですが、今回の工事により、遮光シートを新たに張りつけることによって15年程度延ばせるものと思っております。

以上です。

委員長（橋本 円君） 7番、沖津正博委員。

7番（沖津正博君） 耐用年数はどのくらいで、現時点の立ち位置はどういうふうになっているのか。

それで、今回のシートで、要するにそうするとこれから先、15年までは大丈夫だというふうなことなのでしょうか。

委員長（橋本 円君） 町民課長。

町民課長（菊池和也君） 寿命の立ち位置というところについては、施設全部という形になるのでしょうか。施設自体は、埋立てに係る容量についてですが、こちらについては、容量的にはあと40年ほど埋立容量的にはあるのですけれども、施設もろもろはそれぞれ耐用年数がありますので、今回の改修によって、まだ入りますけれども、15年は遮光シートの部分について延ばすことができるので、今後15年間大丈夫なように今回工事を行わせていただくというものです。

以上です。

委員長（橋本 円君） 7番、沖津正博委員。

7番（沖津正博君） 分かりました。そうすると、例えばあと40年ぐらいは埋立埋蔵量というのは大丈夫だということで、あと15年後にはまたシートを張り替えすれば、またさらに今の場所も使えるというふうな認識でよろしいですか。

委員長（橋本 円君） 町民課長。

町民課長（菊池和也君） 今の施設の容量、あくまでも試算という形にはなりますが、容量的にはあと40年入るであろうというふうな積算となっております。

工事についても、先ほど申し上げましたとおり、今回の改修で、遮光シートについても耐用年数があるので、そちらについては15年、そのほかの設備についても改修計画に基づいて改修を進めていくことによって、さらに使用していくことができるものと思っております。

以上です。

委員長（橋本 円君） ほかにありませんか。

（「なし」と言う人あり）

委員長（橋本 円君） これをもって質疑を打ち切ります。

次に、5款から7款までの説明を求めます。

出納室長。

出納室長（山口多紀子君） 5款から7款の歳出説明をいたします。

78ページをお願いいたします。5款1項1目労働諸費では、前年度と同額の103万5,000円を計上しております。

6款1項1目農業委員会費では2,520万4,000円を計上し、前年度より233万3,000円の増額で、人件費の調整が主なものとなっております。

80ページをお願いいたします。6款2項1目農業総務費では3,653万2,000円を計上し、

人件費の調整が主なものとなっております。

81ページをお願いいたします。2目農業振興費では2,469万円を計上し、前年度より574万9,000円の増額となっております。主なものとして、18節のなたね助成金1,100万円、スマート農業等普及推進事業費補助金500万円、農業収入減少（加工馬鈴薯）対策事業補助金400万円を計上しております。

4目菜の花プラザ管理費では1,922万4,000円を計上し、前年度より283万円の減額となっております。主なものとして、12節の道の駅関連施設管理委託料800万円を計上しております。

84ページをお願いいたします。6目畜産業費では613万2,000円を計上し、前年度より297万1,000円の増額となっております。主なものとして、18節の草地更新支援事業補助金300万円を計上しております。

7目中山間地域等直接支払制度事業費では2,477万2,000円を計上しております。

8目土地改良費では3,548万円を計上し、前年度より832万円の減額となっております。次のページをお願いいたします。主なものとして、18節の農道整備負担金598万円と下水道事業補助金2,450万6,000円を計上しております。

6款3項1目林業総務費では1,976万1,000円を計上し、前年度より252万9,000円の増額となっております。次のページをお願いいたします。主なものとして、12節の森林経営計画意向調査業務委託料445万5,000円、24節、森林環境譲与税基金積立金400万円を計上しております。

6款4項1目水産業振興費では1,729万6,000円を計上し、前年度より902万円の増額となっております。次のページをお願いします。主なものとして、18節のホタテ特定養殖共済事業補助金400万円、半成貝購入費補助金500万円を計上しております。

2目漁港管理費では4,487万7,000円を計上し、前年度より205万円の増額となっております。主なものとして、18節の横浜地区漁港施設機能強化事業負担金3,000万円を計上しております。

3目横浜地区水産物供給基盤機能保全事業費では7,701万円を計上し、前年度より6,700万円の減額となっております。主なものとして、12節の委託料2,700万円、14節の工事請負費5,000万円を計上しております。

7款1項1目商工総務費では3,128万円を計上しております。主なものとして、次のページをお願いいたします。18節の地域商業活性化事業補助金360万円を計上しております。

2目観光振興費では1,125万4,000円を計上し、前年度より589万8,000円の増額となっております。主なものとして、18節のしもきたツーリズム負担金265万円、町観光協会運営費補助金239万2,000円を計上しております。

93ページをお願いします。4目砂浜コテージ・センターハウス管理運営費では1,196万7,000円を計上し、前年度より218万2,000円の減額となっており、人件費が主なものとなっております。

5目菜の花フェスティバル運営事業費では2,563万5,000円を計上し、前年度より105万1,000円の減額となっております。次のページをお願いします。主なものとして、18節の実行委員会補助金1,780万円を計上しております。

6目ふるさとのまつり運営事業費では、前年と同額の1,308万5,000円を計上しており、18節の実行委員会補助金が主なものとなっております。

以上、5款から7款の歳出説明を終わります。

委員長（橋本 円君） 質疑が終わりましたので、質疑を許します。

9番、菊地英史委員。

9番（菊地英史君） 89ページでありますけれども、上段のほうに半成員購入費補助金500万円が計上されておりますが、この半成員購入した後に関しては、それをまず地まきにするものかどうか、どういうふうにして管理していくものかというふうな感じの質問が1つと、あとその上段のナマコ養殖用かご購入事業費として20万円計上されておりますが、これはどういったかごを購入する予定なものやら、答弁をいただきたいなと思います。

委員長（橋本 円君） 産業振興課長。

産業振興課長（澤谷 誠君） ただいまの菊地委員のご質問にお答えいたします。

まず最初に、ホタテ半成員購入事業補助金でありますけれども、これは親貝確保に伴う半成員の購入事業となります。漁協と町と500万円ずつ出して、総事業費が1,000万円となります。

中身ですけれども、西湾のほうから7月頃、約20トンの半成員を購入して、町の4つの漁港にある利用組合の方々に分けて、かごの中に入れてつるしておく、親貝確保に努めていくという事業でございます。

その後なのですけれども、その後は今後漁協と協議して考えていきたいなと思っております。取りあえず親貝確保のために購入するものでございますので、何とかご理解願いたいと思います。

続きまして、ナマコの養殖用かご購入事業費補助金でありますけれども、度々ナマコかご養殖の事業に関しては皆様方に少し説明してまいりました。令和8年度において、ようやく着手するとしております。かご養殖の内容でありますけれども、かごを5列に並べた多段式のかごを購入いたしまして、それを5つか6つ購入して、これもまた各協力してくれる漁師の方々等に北から南まで、各漁港単位でもいいので海でつるしていただいて、要は基本的には階上のほうから3センチのナマコを買ってきて、今まで3センチのナマコを

買ってきて放流しているのですけれども、放流すれば魚の食害等に遭うため、そのかごに入れて5センチから7センチ中間育成して、取りあえず放流するという方法であります。またもう一つは、ナマコは砂の中で生きるものであって、寿命が10年、成熟するまで6年となっておりますけれども、弘前大学の名誉教授の渋谷博士によれば、砂の中でなくても生きると、海のプランクトンが食べられる状況であれば生きるということですので、1つはかごの中で3センチのをに入れて、どれだけの期間でどれだけ大きくなるかというのも一応試験的な内容としておりますので、何とかご理解願いたいと思います。

以上です。

委員長（橋本 円君） 9番、菊地英史委員。

9番（菊地英史君） 先ほどの半成員購入の中で、漁協と協議をしてこれから決めていくということでありましたけれども、現段階で半成員の分配割合とかというのがもし決められていたら答弁いただければなというふうに思います。

委員長（橋本 円君） 産業振興課長。

産業振興課長（澤谷 誠君） 先ほども少しお話ししましたけれども、当初は漁協からの要望であれば、20トン買ってきて、58のホタテ漁師の方々に分けるという申請でありました。そうすれば、1つの漁業者の方に約350キロずつ分けると。そうしても、育てて販売するものではないので、ずっとつるしておかなければならないので、管理も大変だと、各漁業者の方々に。管理できないという方も結構いたので、まず先ほど申したとおり、利用組合の方は4つに分けて管理してもらおうと。利用組合の中の組合の方で定期的に見に行き、夏はノシを触れないので、その期間を外して確認して、日報等をちゃんと書いてもらって、生きているか生きていないか判断して、そういうのを事業実績に載せていきたいなと思っております。取りあえずは、4つに一応分けて、利用組合で管理してもらおうという今考え方でございます。

以上です。

委員長（橋本 円君） 4番、杉山大栄委員。

4番（杉山大栄君） まず、今の菊地委員の質問に付随するのですけれども、その半成員、夏に購入するということだったのですけれども、それはかご養殖、かごに入れて管理するというのは、それは私から感じることはへい死する確率が高くなるのではないかなと思うのですけれども、それは漁協さんの意向でそのようなかご養殖になったのかなとか、それとも外部の方からの提案なのか、そちらをちょっとお聞きしたいと思います。

もう一つ、92ページの観光振興費の町観光協会運営費補助金なのですけれども、前年度まで40万円だったのが、今年度、令和8年度は一気に239万2,000円になっているのですけれども、こちらの内容のほうも併せてお願いします。

委員長（橋本 円君） 産業振興課長。

産業振興課長（澤谷 誠君） ただいまの杉山委員の質問にお答えいたします。

半会員購入事業のかごについては、やはり7月に西湾のほうで買ってきて、物が大きいので、耳づりはできないということで、漁協と相談して、漁協のほうからかごで返すと。親貝確保のためですので、そういうお話があって、そう決まりました。

あともう一つ、92ページの町観光協会運営費補助金でありますけれども、この内訳といたしましては、去年までは運営補助として40万円でありました。それに菜の花フェスティバルの迷路の製作費と展望台の設置費をプラスして239万2,000円となりました。この理由といたしましては、今現在、去年まで、菜の花迷路でありますけれども、町が設置、運営していて、観光協会が管理している状況の迷路に対する事業でありましたけれども、設置及び運営も観光協会が実施し、分かりやすい事業運営とするためにこうしたものでございます。

以上です。

委員長（橋本 円君） 7番、沖津正博委員。

7番（沖津正博君） ページ数はあれなのですけれども、いわゆる産業振興課の全般についてお伺いしたいというふうに思っています。

それは、今町はホタテの問題、それから縦貫道でいわゆる商工会の活性化の問題とか、本当に喫緊の課題がいっぱいある中で、私は産業振興課の役割は大変だし、大きいものだというふうに思っていて、それぞれ商工会あるいは農協、漁協と戦略会議をやってほしいというふうに常々思っております。そういう意味では、昔は農林課と、それから水産商工課と2つ課があったのが、今の産業振興課と一緒にしているわけです。そういう意味では、このページ数とそれから中身を見ても、非常にいっぱいではないかなと。大変な仕事をやっているなというふうに思っていて、できれば元の形に戻して、2つの課でやると、やっぱり人も増やしていただくというふうなことができないのかなというふうに思っています。そういう定員管理と課の改廃といいますか、こちらのことについて、もし考えがあればお願いしたいと思います。

委員長（橋本 円君） 副町長。

副町長（菊池義規君） 産業振興課の仕事等についてのご質問でありますけれども、職員が大変だということで気を遣っていただき、大変ありがとうございます。定員、確かに予算費目等を見ても多岐にわたっている課でございます。いわゆる第1次産業等、町の基幹産業になっている課でございますので、職員には大変頑張っていただいております。横浜町役場全体としての定員管理もございまして、財政運営上、持続可能なまちづくりのため、まちづくりを考えていかなければならないと総合的に考えて、今後課の再編について

は、近々というわけではありませんが、将来考えていかなければならないことだと思っております。

また、職員の配置等につきましては、それぞれ毎年度人事に関わるということですので、その都度判断して増員するなりを考えていきたいと思っております。ということでご理解いただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

委員長（橋本 円君） 3番、野坂浩二委員。

3番（野坂浩二君） 82ページのなたね助成金1,100万円ですけれども、常任委員会のほうで単価の補助額が下がった分の補填分を増額したということで説明を受けました。そこで、今年度の作付のほうは終わっておりますので、作付面積の状況がどうなのかと、来年度に向けて新品种の導入のほうはどうなっているのか、見通しとかあれば報告していただきたいと思っております。

委員長（橋本 円君） 産業振興課長。

産業振興課長（澤谷 誠君） ただいまの野坂委員のご質問にお答えいたします。

菜種の令和8年の作付面積でございますけれども、95.3ヘクタールとしております。前年対比では8.3ヘクタール増となっている状況でございます。

もう一つは、度々説明してきましたけれども、キザキノナタネからペノカのしづくへの転換の関係でありますけれども、今までは町が主導で、県の助けをいただいて、農協にも協力してもらって転換していきたいというような事業転換していく予定でありましたけれども、全農のほうペノカのしづくに全転換したいと、青森県全体が、という動きがありまして、県が主導として、町が協力していく形でペノカのしづくへ転換という動きになっております。

その事業の進捗状況でありますけれども、令和8年度、来年度から一応試験的に3年から4年間、試験的に作付、横浜、当町でしていく予定でございます。

以上でございます。

委員長（橋本 円君） 9番、菊地英史委員。

9番（菊地英史君） 私からは92ページでありますけれども、中段にあります、しもきたツーリズムの負担金265万円が計上されております。こちらの具体的な活動、今現時点での活動内容というか、260万円に見合った、こういった活動を行っているのかというのを答弁いただきたいと思っております。

委員長（橋本 円君） 産業振興課長。

産業振興課長（澤谷 誠君） 菊地委員のご質問にお答えいたします。

しもきたツーリズムの中の横浜関連事業については、まず広域的目的事業であります地域のブランディング推進事業、あと受入れ環境整備事業、これは下北観光案内所運営であ

ります。また、様々なマーケティング事業、あとプロモーション事業も下北半島6市町村を対象に、これは個々に事業説明をすると何十個にもなりますけれども、大まかに説明させていただきます。

また、収益目的事業でありますけれども、横浜町ふるさと納税発注等業務委託も実施しております。また、数年前も道の駅でのしもきたツーリズムのイベントも開催しましたけれども、今後においても道の駅エリアを中心とした下北半島への玄関、入り口ともなっておりますので、しもきたツーリズムのほうに聞けば、バスツアー等も何か企画していきたいという方向性を聞いておりますので、様々な事業を展開していけるように町としても協力してまいりたいなと思っています。

以上です。

委員長（橋本 円君） 9番、菊地英史委員。

9番（菊地英史君） 答弁ありがとうございます。先ほどバスツアーということがありました。確かにしもきたツーリズムで春のバスツアーということで、菜種のツアーとかやっているのを知っています。

ただ、ちょっと気になるのが、いろんな体験イベントというのをしもきたツーリズムを通じてやっていると思っています。例えば大間町であれば、マグロの一本釣り、33万円で体験できるとか、各構成している市町村である大畑でも、大間でも、風間浦でもあるのですが、いろんな体験を企画しているのですが、私も先週、大畑であったイベントというのに、実際にしもきたツーリズムを使って参加してきましたが、横浜町での体験イベントというのが、横浜町だけが全くないのですが、これないというのは、こちらから企画してやるべきなものやら、向こうからアドバイスして、こういった企画をやったらどうか、体験やったらどうだというものやら、どうなのか、その辺を答弁いただけたらなと思います。

委員長（橋本 円君） 産業振興課長。

産業振興課長（澤谷 誠君） 今の菊地委員の質問にお答えいたします。

ツーリズムの事業といたしましては、まずツーリズムをやりたい事業、また町からも要望できる事業の2つありますので、今後においても菜種絡みの体験等においても、町からそういう事業は可能なのか、要望していきたいなと思っています。

委員長（橋本 円君） 9番、菊地英史委員。

9番（菊地英史君） ぜひ町でもいろんな体験できるものがあると思います。例えばタイ釣りとかべこ餅体験とか、そんないろんな、簡単なもので多分いいと思うのですが、ぜひそちらの企画というものを展開していけたらなと思いますので、要望したいと思います。お願いいたします。

委員長（橋本 円君） ほかにありませんか。

(「なし」と言う人あり)

委員長(橋本 円君) これをもって質疑を打ち切ります。

次に、8款から9款までの説明を求めます。

出納室長。

出納室長(山口多紀子君) 8款から9款の歳出説明をいたします。

95ページをお開きください。8款1項1目土木総務費では804万2,000円を計上し、主なものとして18節の定住促進事業補助金500万円を計上しております。

8款2項1目道路維持改良費では1億1,121万2,000円を計上し、前年度より1,218万6,000円の増額となっております。主なものとして、次のページをお願いいたします。12節の橋梁点検委託料1,407万円、社会資本整備事業委託料2,360万円、14節の町単独工事費2,000万円、鶏沢1号線道路改良工事1,200万円、田ノ沢川しゅんせつ工事900万円、17節の車両本体購入費700万円を計上しております。

2目道路除雪費では8,555万3,000円を計上し、前年度より4,533万6,000円の増額となっております。主なものとして、次のページをお願いいたします。12節の除雪作業委託料8,000万円を計上しております。

8款3項1目住宅管理費では1,454万4,000円を計上し、人件費が主なものとなっております。

2目住宅建設費では、前年度より2億2,045万4,000円を減額し、450万円を計上しております。

102ページをお願いいたします。9款1項1目常備消防費では3億2,869万円を計上し、前年度より9,517万6,000円の減額となっております。

2目非常備消防費では1,762万8,000円を計上し、前年度より1,238万4,000円の減額となっております。主なものとして、1節の報酬で876万2,000円を計上しております。

以上、8款から9款の歳出説明を終わります。

委員長(橋本 円君) 説明が終わりましたので、質疑を許します。質疑ありませんか。

7番、沖津正博委員。

7番(沖津正博君) 102ページです。消防団のところですが、厳密に言えばここで質問することではないかもしれないのですが、消防団に関わることなので、質問させていただきたいと思っております。

自主防災会議が今回4団体ですか、徐々に増えつつあるのですが、やっぱり私は抜本的に増やしていただきたいというふうに思っております。そういう意味では、各町内会がなかなか重い足を踏み込めないというのはやっぱり負担があるというふうなことだと感じております。なるべくその負担を軽減するためにはどうすればいいかということで、やっ

ぱり地域の核になっている消防団の人たちが私は鍵を握っているのではないのかなというふうに思っています。町内会と消防団員が一緒になって、自主防災の中心部を担っていただくというふうな位置づけをやっぱりしいていただければいいなというのが今回の質問です。

町内会の役員というのは、どんどん替わっていくわけです。そういう中で、消防団員というのはあんまり替わらない、しかも地域の中心人物なわけですので、町内会、自主防災会の組織の中で防災部とかというふうに設けるのか、あるいは町内会の役員が自主防災の役員そのままに兼任するのか、それは各地域でばらばらでしょうけれども、やっぱり何といても消防団の方が自主防災の意識を持って地域を守っていこうというふうなことで何とか頑張ってもらいたいというふうに思っていますので、そういう消防団員に対して、何かそういう防災のお話も含めた機会があればいいなというふうに常々思っております。考えがあればお聞かせください。

委員長（橋本 円君） 総務課長。

総務課長（澤谷隆充君） そうすれば、7番、沖津委員のご質問にお答えします。

現在町では、やはり自主防災組織のほうを推進するというところで、春の町内会長会議の席で実績の数と、現在6団体でありますけれども、自主防災会のほうをお願いしますというところでPRはしております。

また、消防団の関わり合いというのも、消防団、現在条例定数では155名ですが、実際いるのが134名ということで、なかなか入る方もいらっしやらないので、地域でそれぞれ地域を守るということで、町内会と消防団員の勧誘も含めてPRしていきたいなと思っております。

また、町では消防団の会議も年数回ございます。幹部会議がございますので、各分団の団長に向けて、そういう自主防災会ができるできないにかかわらず、地域のほうでまたさらにご協力をお願いしたいなというのを伝えていきたいなと思っております。

以上です。

委員長（橋本 円君） 3番、野坂浩二委員。

3番（野坂浩二君） 98ページ、17節の車両本体購入費700万円ですけれども、道路維持改良費ということで作業車両、トラック関係かなとも思いますが、予算の資料のほうに車両購入は3件ほどしか載ってなくて、この700万円というのはどういうものなのかお知らせいただきたいと思います。

委員長（橋本 円君） 建設水道課長。

建設水道課長（田浦良次君） この車両購入というのは水道車両です。

委員長（橋本 円君） 3番、野坂浩二委員。

3番（野坂浩二君） この水道車両というのは、給水車とかそういう関係でしょうか。

委員長（橋本 円君） 建設水道課長。

建設水道課長（田浦良次君） 水道施設等の管理車両になります。

委員長（橋本 円君） 10番、杉山和彦委員。

10番（杉山和彦君） 常任委員会が終わって、こういう質問をするのも大変恐縮ですけれども、1つだけ。98ページ、14節の工事請負費ですけれども、町単独工事費2,000万円計上していますけれども、昨年は2,300万円でした。町単の工事、当然メニューがあって、それを積算して積み上げして2,000万円ということになったと思うのですけれども、例えば変更で増額になった場合、新年度やるべき予定していたメニューを減らすものか、それとも補正で増額する方向で持っていくのか、その辺簡単に説明をお願いします。

委員長（橋本 円君） 建設水道課長。

建設水道課長（田浦良次君） この件については常任委員会でもご説明したのですけれども、今現在見込まれているものとしては、三保野地区の道路の舗装工事と、あと防雪柵の設置工事、あと通行止め、冬用の農道の設置費等が見込まれていますけれども、そのほか予備的な費用として1,500万円ほど見込んで、総額で2,000万円ほど計上しております。

これ以上何か増えたらというお話ですけれども、それについてはその都度相談しながら対応していきたいなと思っております。

以上です。

委員長（橋本 円君） 7番、沖津正博委員。

7番（沖津正博君） 103ページです。公課費の消防自動車の重量税です。これは、内訳をお願いしたいと思っています。

委員長（橋本 円君） 総務課長。

総務課長（澤谷隆充君） 沖津委員のご質問にお答えします。

消防自動車の重量税については、消防団の車両になります。本年度につきましては、場所、どこの分団という話になりますでしょうか。そこの内訳というのは、どういう内訳をお示しすればいいのか、ちょっとお聞きしたいと思うのですが。

委員長（橋本 円君） 7番、沖津正博委員。

7番（沖津正博君） 質問の趣旨は、私はどうしてこういうのに税金かけるのかなというふうに思っています、本当に例えば救急車とか消防車とかというのにも税金かけるのでしょうか。あるいは、パトカーとかもやっぱりかけるのかなと思ったりしていて、あまり台数持ったら、持つなという意味なのかどうか。確かに道路が少し壊されるから、それは重量税ということで舗装に充てるということなのかもしれないのですが、やはり公共の福祉からしてこういうのは税金かける筋ではないと思うのです。質問の趣旨は違うかもしれませんが。

委員長（橋本 円君） 総務課長。

総務課長（澤谷隆充君） 税の関係になりますので、これは市町村というよりは国で定めた車両の重量税に係る法的な税金になりますので、それでご理解いただければなと思います。我々のほうでかけるか、かけてほしくないとか、そういう問題ではないかと思っておりますので、ご理解ください。

以上です。

委員長（橋本 円君） ほかにありませんか。

（「なし」と言う人あり）

委員長（橋本 円君） これをもって質疑を打ち切ります。

次に、10款から14款までの説明を求めます。

出納室長。

出納室長（山口多紀子君） 10款から14款の歳出説明をいたします。

104ページをお願いいたします。10款1項2目事務局費では1億7,288万9,000円を計上し、前年度より2,080万6,000円の増額となっております。主なものとして、106ページをお願いいたします。12節のスクールバス運転業務委託料3,600万円、校務支援システム導入委託料507万1,000円、教育関連施設長寿命化計画更新業務委託料2,000万円、次のページをお願いいたします、17節の車両本体購入費500万円、タブレット等購入費976万8,000円を計上しております。

109ページをお願いいたします。4目学校給食費無償化等子育て支援事業費では1,289万円を計上し、18節の高校生通学等助成金1,000万円が主なものとなっております。

10款2項1目横浜小学校管理費では3,197万2,000円を計上し、前年度より742万2,000円の増額となっております。主なものとして、10節の光熱水費1,300万円、次のページをお願いいたします、12節のエアコン設置工事設計業務委託料300万円を計上しております。

10款3項1目横浜中学校管理費では3,205万1,000円を計上し、前年度より601万6,000円の増額となっております。主なものとして、次のページをお願いいたします。12節の照明LED化工事設計業務委託料800万円を計上しております。

2目教育振興費では731万1,000円を計上し、前年度より315万円の減額となっております。主なものとして、18節の中学生海外体験学習事業補助金650万円を計上しております。

115ページをお願いいたします。10款4項1目社会教育総務費では2,950万4,000円を計上し、前年度より251万円の増額となっております。主なものとして、18節の上北地方教育・福祉事務組合負担金356万8,000円を計上しております。

117ページをお願いいたします。2目公民館費では1,056万1,000円を計上し、人件費が主なものとなっております。

3目図書館費では930万9,000円を計上し、前年度より443万円増額となっております。主なものとして、12節の図書館システム更新業務委託料を計上しております。

119ページをお願いいたします。5目ふれあいセンター費では3,166万4,000円を計上し、前年度より1,280万4,000円の減額となっております。主なものとして、10節の光熱水費1,152万円と燃料費1,404万円を計上しております。

6目烏帽子平自然の家管理費では1,508万1,000円を計上し、前年度より1,431万円の増額となっております。主なものとして、12節の烏帽子平自然の家等解体設計業務委託料1,430万円を計上しております。

121ページをお願いいたします。9目トレーニングセンター費では1,792万9,000円を計上し、前年度より861万1,000円の増額となっております。主なものとして、14節のアリーナ改修工事700万円を計上しております。

124ページをお願いします。2目社会体育総務費では769万2,000円を計上し、前年度より420万円の増額となっております。主なものとして、1節の部活動指導員報酬600万円を計上しております。

125ページをお願いします。3目給食センター管理運営費では8,014万4,000円を計上し、前年度より258万6,000円の減額となっております。主なものとして、10節の給食費1,672万円、次のページをお願いします、12節の学校給食調理等業務委託料2,262万9,000円、18節の学校給食費補助金交付事業1,191万9,000円を計上しております。

128ページをお願いいたします。12款1項1目元金費では3億5,681万3,000円を計上し、前年度より1,718万7,000円の減額となっております。

2目利子費では1,949万1,000円を計上し、前年度より155万1,000円の増額となっております。

14款1項1目予備費につきましては、前年と同額の500万円を計上しております。

以上、11款から14款の説明を終わります。

委員長（橋本 円君） 説明が終わりましたので、質疑を許します。質疑ありませんか。

4番、杉山大栄委員。

4番（杉山大栄君） 122ページの郷土館費ですけれども、前年度も本年度も800万円弱の予算計上していますけれども、しからば、では直近の郷土館の今の状況はどうなっているのか、そちらをちょっとお聞きしたいと思います。例えば冬場の営業体制とか、直近3か月ぐらいの来館者とか、こちらのほうを少しお聞きしたいと思います。

もう一つが124ページの社会体育総務費、部活動指導員の報酬で600万円計上になっていますけれども、報酬ということは全額人件費と考えてよろしいでしょうか。そちらのほうをお願いします。

委員長（橋本 円君） 教育課長。

教育課長（古郡友哉君） それでは、杉山大栄委員のご質問にお答えします。

まず1点目ですけれども、郷土館の利用者数の推移の話になりますけれども、すみません、正確な数字のほう、今日持ってきていませんでしたのであれなのですけれども、やはり冬場になりますと、道の駅もそうだと思うのですが、観光客が減っておりまして、冬の企画展と申しまして、教育長のほうが現在といいますか、1月から2月まで冬の企画展として郷土館のほうで展示のほうを企画してやっておりますのですが、実際のところ1月からの来客数がほとんど見込めず、1月ですと29人で、2月は、すみません、頭にちょっと入っていませんけれども、3月は休館になりますので、1月、2月でもうほぼほぼ人が来ないような状況になっております。やはり4月27日にオープンしてから12月までなのですけれども、2,000人を超えて、大分道の駅とともに、少し観光バスが道の駅に入って、そのついでに郷土館に寄っていくというような、そういう流れになっていきますので、そこはオープンして大成功だなというふうには思っております。

次の2点目の部活動の人件費のことにつきましてですけれども、こちらの600万円は全て人件費ということで理解していただきたいと思えます。

以上です。

委員長（橋本 円君） 4番、杉山大栄委員。

4番（杉山大栄君） まず、1点目の郷土館なのですけれども、2月はゼロで、3月は今休んでいるということは、では2月からは休館しているという解釈でよろしいでしょうか。

もう一点、あと部活動指導員の報酬のほう、人件費ということなのですけれども、地域移行の関係だと思うのですけれども、では送迎の分は今どのような状況になっているのか、そちらもお願いします。

委員長（橋本 円君） 教育課長。

教育課長（古郡友哉君） 質問にお答えします。

すみません、言葉足らずで申し訳なかったのですが、2月はゼロではなくて、2月の部分は入っているのですが、ここちょっと数字のデータがなかったものですから、ちょっと答えができなかったということで理解していただきたいと思えます。

次の部活動の送迎の件に関しましては、今後協議しなければならないのですが、中学校の部活動、地域移行になった場合、こちらのほう、スポーツ少年団に加盟していただけるのであれば、小学校と同様にバス運行をしようというふうに今検討中でございます。

以上です。

委員長（橋本 円君） 7番、沖津正博委員。

7番（沖津正博君） 意見ですが、郷土館ですが、冬場のお客さんが少ないというのがあるので、こ

の郷土館をいかに利用していくかという点で、公民館には運営審議会というのがあるわけで、郷土館も子供たちに横浜町のことをもっともっと知ってほしいし、その魅力をみんなに伝えてほしいなというふうな立場から、そういう郷土館の運営委員会みたいなのがあればいいなというふうに思っています。各P T Aとか、あるいはいろいろな郷土芸能とか、各ジャンルの人たちが集まって、歴史や文化だけではなくて、様々な角度から町をP RするP R館だというふうに思っていますので、そういう企画あるいは運営に関して、いろいろな話し合いをしながら運営していったらいいなというふうに思っています。そういう意味で、運営委員会みたいなのがあればいいなと思っていますが、もし考えるところがあればお答えいただければと思います。

委員長（橋本 円君） 教育長。

教育長（小原広基君） 今年度4月27日からやってきたのですけれども、県内のほかの類似施設と比べて際立って特徴があるのが、いわゆるここが下北あるいは北海道方面に行く観光ルートのうちちょうど真ん中の休憩地点にあるということで、圧倒的に県内の郷土館の中では他地域からの、他市町村、他県あるいは外国、そういったところのお客さんが非常に際立っております。ただ、その分観光バス等がほとんど来なくなる1月から3月までは客足が遠のいて、その間町の人たちをと思って企画はするのですけれども、郷土館に限らず、厳しい強風の吹く横浜で、道の駅も含めて人がなかなか集まってこないというところは正直ありました。つがるのほうでは、似たような気候のところはありますので、1、2、3月の3か月間、休館というふうに運営しているところもあります。

今の運営の話ですけれども、郷土館の役割としては今委員おっしゃったように、いわゆる古いものだけではない、様々地域に根差す伝統芸能とかそういったことも幅広くあります。それから、何よりも道の駅に隣接して、下北自動車道から直近で建物がどんどん見えてくるといって、すばらしい地の利にありますので、そういったところで様々これから町のよさをP Rする場所として考えなければいけない。これは、私というか、教育関係者だけではなかなか難しい。道の駅関係も含めて、トータルで町の活性化につながるような、郷土館どうのこうのというよりは、私個人としては今のご意見からいうと町の活性化につながるようなトータルな運営協議会、そういったものが必要だと思っております。

以上です。

委員長（橋本 円君） ほかにありませんか。

（「なし」と言う人あり）

委員長（橋本 円君） これをもって質疑を打ち切ります。

これより第12号の総括質疑を許します。質疑ありませんか。

（「なし」と言う人あり）

委員長（橋本 円君） 質疑なしと認めます。

以上で議案第12号の総括質疑を打ち切ります。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

（「なし」と言う人あり）

委員長（橋本 円君） 討論なしと認めます。

これより議案第12号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う人あり）

委員長（橋本 円君） 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

◎散会の宣告

委員長（橋本 円君） お諮りします。

本日はこれをもって散会したいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う人あり）

委員長（橋本 円君） 異議なしと認めます。

よって、本日はこれをもって散会とすることに決定いたしました。

なお、あした午前10時から本委員会を再開いたします。本日は大変ご苦労さまでした。

（午後 2時39分）